

月報 2023年 7月31日 No.390

石城山岳会

7月号

# 四方通信



石城山岳会事務局編集

7月教室山行 燧ヶ岳

「燧ヶ岳」(2356m) (燧裏林道)

個人山行『白馬三山～不帰嶮～唐松岳縦走』

# 7月教室山行 燧ヶ岳

2023年7月15日(土)、16日(日)

参加者 教室生：西村(淳)、西村(里)、伊藤、矢内

会員：秋葉、小谷野、太、国井、安部、山中

当初は1日目に御池駐車場から燧ヶ岳に登る計画でしたが、午前中の予報が雨模様だったので当日に燧ヶ岳登山を2日目に計画変更しました。

朝4:30に水石トンネルを出発して8:15御池駐車場到着、小雨なのでカッパに着替えます。9:00発のシャトルバスに乗車して沼山峠登山口に向かいました。

沼山峠からは木道を歩きますが木道が雨で濡れているので注意しながら歩きました。沼山峠展望台を過ぎると大江湿原です。例年だとこの時期は一面ニッコウキスゲの花ですがほとんど咲いていませんでした。今年は霜の影響で芽がやられて花が咲かないとのこと、大変残念です！ビジターセンターで少し休憩してから沼の南岸を歩き尾瀬沼山荘で昼食を取りました。沼尻休憩所から白砂田代、見晴へとこの日はトレッキングです。

宿泊はテント泊と小屋泊に分かれましたが、ひと段落してから小屋前のテラスで一緒に恒例の反省会が始まりました。

[タイム]

1日目 9:25 沼山峠→10:15 小淵沢田代分岐→10:35 平野家の墓→10:55 尾瀬沼ビジターセンター→11:45 尾瀬沼山荘 12:20→13:40 沼尻休憩所→15:55 桧枝岐小屋

2日目は小屋の朝食が5:30からだったので早めに出発しました。見晴新道は登山道がドロドロで滑りやすく大変歩きづらい登りになりました。山頂近くなると石の急登になりますが尾瀬ヶ原が望めるなど見晴らしが良くなりました。山頂は相変わらず登山者がたくさんいました。山頂からの眺望は雲の動きが早く尾瀬ヶ原や尾瀬沼が望めたり隠れたりでしたが概ね楽しめました。昼食後、俎ヶ岳から熊沢田代に下りました。湿原はキンコウカの絨毯にワタスゲが咲いていました。広沢田代からようやく御池駐車場に到着しました。大変時間が掛かりましたが無事下山できました。

[タイム]

2日目 6:40 桧枝岐小屋→11:15 燧ヶ岳(柴安ヶ岳) 11:50→12:20 俎ヶ岳→13:40 熊沢田代→14:50 広沢田代→15:55 御池駐車場

(文責：山中)



# 「燧ヶ岳」(2356m) (燧裏林道)

2023年7月15・16日

登山教室：矢内 会員：太

雨天のため登山予定コース順を変更。御池駐車場よりバスにて沼山峠休憩所へ移動。

峠を下るとお馴染みの尾瀬の風景。水芭蕉の季節に遅く<夏の思い出>とは少し違う…が、葉っぱに出会う。ニッコウキスゲが咲き 尾瀬に来た気分を味わう。長蔵小屋のある尾瀬沼ビジターセンターにて小休止。湿原が失われる危機を救って頂けた事に感謝しつつ出発。

更に尾瀬沼南岸を沼尻へ。きれいな沼尻休憩所で3人の子ども連れの家族に遭遇。子供の体力に驚きを感じる！ 第二長蔵小屋もある見晴の檜枝岐小屋にて1泊。

昨年はすいていたらしいキャンプ場へテント泊の見学に。コロナ明けで 所狭しとカラフルなテントで埋め尽くされている。高校生のグループがテント設営中で登山のすそ野の広さを感じる。

山小屋は快適で大きな浴槽有り。下界と変わらぬ夕食を堪能して、極め付きは<生ビール>!!

翌日は5時半朝食、絶品塩鮭に舌鼓。下田代を抜け赤田代の温泉小屋にて小休止。

三条ノ滝に向かうか、段吉新道を選ぶか、しばし熟考。ロキソニンテープ・ボルタレン貼付と服用で出発していることもあり、より安全なコースを選択。兎田代で再度、三条ノ滝の誘惑もありつつ次の楽しみに。 燧裏林道はほぼ平行移動で、ベテラン登山者には物足りないコースでも不調者にはそれなりに楽しめる。息も上がりず会話を楽しみながら進める。燧裏だけあり、冷風が吹抜け猛暑日続く下界とは別世界。真っ白な姿に目を奪われたのが銀竜草。ハッカ飴を想像させる。さながら、わたすげはお菓子のスノーボールのようと一人ニンマリ。水芭蕉の葉っぱから芭蕉扇がイメージされ、燧ヶ岳(ひうちがだけ)→火焰山(かえんざん)→西遊記 と想像がふくらむ。



人生危ない橋を渡る事もある！と聞くも裏燧橋は、鉄砲水もやり過ごせる高さで、安心安全。

木道が完全に朽ちている箇所があるが、新しい木道材が運ばれていて、今シーズン中に修理も完成し来シーズンは一層安定のコース間違いなし。

## 【コースタイム】

≪7/15(土)≫

沼山峠休憩所 9:30 → 沼山峠 9:50 → 尾瀬ビジターセンター 11:00 → 尾瀬沼山荘 11:50  
→ 沼尻休憩所 13:40 → 檜枝岐小屋 15:50 (泊)

≪7/16(日)≫

檜枝岐小屋 6:30 → 温泉小屋 7:20 → シボ沢吊り橋 9:50 → 上田代 11:30 →  
→ 御池ロッジ 12:10

(文責：矢内)



# 個人山行『白馬三山～不帰嶮～唐松岳縦走』

2023年7月15,16,17日

須藤、比佐、高倉、西田

海の日三連休を利用し、憧れの北アルプスへ行ってきた。須藤さん、比佐さんも北アルプスは初めてだ。事前準備として、高倉さんに装備の確認をしてもらい、ジャンダルムでクライミングのコツを教わった。今回の山行の難所は不帰嶮。慣れない3人がはしご、鎖場の岩稜帯を通過することになる。そのため、荷物を極力少なくする目的で小屋泊を選択した。

前日19時いわきを出発、糸魚川IC近くのセブンイレブンで車中泊させてもらう。

**15日** 樽池 Gondola 駐車場へ移動。雨予報のせいか駐車場は空いていた。ザアザアの雨の音を聞きながら Gondola の営業開始を待つ。7時前には雨は弱まり、Gondola、ロープウェイを乗り継いで樽池自然園駅へ。8時10分行動開始。まもなく雨は止みカッパを脱ぐ。蒸し暑い。樹林帯を抜けて天狗原の湿原。白馬乗鞍岳までの上りがよく見える。木道の後ゴロゴロした岩の登山道。雪渓もあったが登山靴のままで登れた。高倉さん曰く、今年は本当に雪が少ないとのこと。この辺から風が強くなり再びカッパを着る。乗鞍岳を越え白馬大池へ。昼食をとり12時05分行動再開。稜線に出るとさらに風が強まるが、雲の間から青空がのぞき、山並みもよく見渡せ、道の両脇には高山植物が茂り、アルプスに来たんだなと実感。本で読んだ二重山稜も実際に見ることができた。そんな感動も束の間、小蓮華山の手前辺りから息が上がって苦しくなる。三国境で小休憩をとるが動いていないと寒い。これ以降一層風も強まりガスで辺りは真っ白。ふらふらと飛ばされそうになりながら、最後は高倉さんにザックを持ってもらった。手もかじかみ手袋をつけた。よく分からいまま白馬岳山頂を踏む。ガスと強風の中写真だけ撮って急いで頂上宿舎へ向かった。16時05分到着。汗の始末をしてお酒と温かい食事とたっぷりの睡眠をとる。宿舎で西さんに会えて嬉しかった。

**16日** 4時起床。6時05分行動開始。相変わらずガスと強風の中、杓子岳・白馬鑓ヶ岳の山頂を踏む。その後、鑓温泉分岐では今回一番の激しい風。恐怖で涙が出そうになる。9時13分天狗山荘着。予定通り唐松へ向かうかこのまま小屋に留まるか、高倉さんは判断を迫られる。山小屋ご主人や反対から通過してきたパーティからの情報も考慮し、

- 前線が北上気味で等圧線も緩み気味なので風が今以上に強くなることはないと予想。
- 気温も高かったので装備を考慮すると低体温症にもなりにくい。
- メンバーの体力も余っていて登高力も問題なし。

と判断し、予定通り不帰嶮を通過して唐松岳へ向かうことを決めた。最後はご主人の表情に後押しされたという。ヘルメットをかぶり、お守り代わりに簡易チェストハーネスとカラビナを装着し、天狗山荘を後にした。稜線に出るとやはり風は強いが、それまでの激しさは収まっていたように感じた。11時10分天狗の大下り。鎖場もあり緊張感があるが、手も足もしっかりしたホールドがあるので思ったよりは怖くない。ガレ場を慎重に下っていると、突然ガスが晴れて目の前に不帰嶮が現れる。そのスケールの大きさにゾクゾクした。かっこいい。さあ、いよいよだ！カッパも脱いで身軽になり、手を探して足を探して、クライミングが趣味の私にとってはとても楽しい場所だった。下がガスっていて高所への恐怖心がなかったことと、一番の難所とされる箇所（二峰北峰の下り）が今回は上りで通過したことで気持ちにも余裕があったのかもしれない。高倉さんは鎖を使わないで通過しており、私も自分の体だけで登れるようになったらもっと難しいルートに挑戦できるのかなとったりした。須藤さん、比佐さんもジャンダルムでの特訓の成果かとても安定していた。揃って無事通過し15時唐松岳山頂を踏む。唐松山



荘はお客さんでごった返していた。天狗山荘で同じく迷っていた他のパーティとも再会した。

17日 快晴の朝を迎える。雲海の底から上ってくる朝日。縦走してきた山々が赤く染まる。遠くに富士山も見えた。山から最高の贈り物もらった気分だ。名残惜しいが7時45分に下山開始。八方尾根の登山道には人が溢れていた。渋滞に足止めされながらきっかり3時間でリフト乗り場に到着。温泉、お蕎麦、お買い物を堪能して帰路につく。

(文責：西田)

(コースタイム)

Day1

8：10 梅池自然園駅→9：40 天狗原→11：00 白馬乗鞍岳→11：35 白馬大池（休憩～12：05）  
→13：53 小蓮華山→14：38 三国境→15：36 白馬岳→16：05 村宮頂上宿舎

Day2

6：05 村宮頂上宿舎→7：12 杓子岳→8：15 鍵ヶ岳→8：36 鍵温泉分岐→9：13 天狗山荘（休憩～  
10：15）→10：35 天狗ノ頭→11：10 天狗の大下り→12：36 不帰嶮一峰→13：51 二峰北峰→  
15：00 唐松岳→15：20 唐松山荘

Day3

7：45 唐松山荘→9：55 八方池→10：45 リフト乗り場

